

生後2週間でアトピー発症～4歳半で  
改善するまでの経過報告。

「生後2週間から続く湿疹との戦い（途中経過）」

榎野都生 4歳（お母様記述）

2016年7月13日

母子揃ってただれまくったぐちゃぐちゃな顔で松本医院を訪れたのは、2014年5月9日。ステロイドを独断で絶って1年2ヶ月ほど経った時でした。きっかけは母である私の発熱と、おでこから滴る汗に、これ以上このままではヤバイと感じた事、そして昔一時通っていた兄からの紹介でした。

都生の湿疹が始まったのはちょうど生後2週間のときでした。いわゆる乳児湿疹、新生児ニキビと言われるようなブツブツが目の周りからおでこ、頬へと日に日に広がっていく感じでした。ステロイドには抵抗があったものの上の息子の乳児期にアレルギー小児科で言われた言葉がトラウマになり、生後3ヶ月頃、悩みつつ皮膚科を受診しようと思いましたが、案の定ステロイドが処方されそこから約1年、ダラダラと顔を中心にステロイドを使ってしまいました。

改善の兆しはなくステロイドをやめてからはネット上の色んな記事を読み漁り、手作り化粧品、乳酸菌、脱保湿・脱入浴、色々やりました。よくなってきたと実感できるやり方はなく、ただ季節が夏になれば落ち着き、秋から冬になるとまた酷くなり、血まみれになりながら顔面をかきむしる辛い時期でした。

上の息子も乳児期はひどい湿疹があったけど、1歳の夏頃にはほぼキレイになったのに、なんでこの子はこんなにひどいんだろうと私自身も湿疹と戦いながら嘆く日々でした。結局そんな独自の治療が細菌感染で限界を迎え、松本医院での治療が始まったのです。

初診で私達母子を見て「よくもまあそんな状態になるまでおったな。」といった感じだったのでしょうか。でも松本先生はしきりに、「見かけ倒しやから大丈夫や！絶対治る！」と豪快におっしゃっていました。漢方風呂、塗り薬、煎じ薬、抗生物質が処方され、さっそくその日から使うと、ただれて汗が垂れてきていたのが止まり、機嫌のいい時間が増えて少し気持ちが楽になりました。それからちょうど1週間後、初診時に前もって言われていた「噴火みたいな症状」が襲ってきました。掻いてなくてもどんどん汗が溢れ出し、今の治療が確かに作用しているんだと感じる事ができた出来事でした。

こんな状態は数日でひいていき、それからはその時ほど酷くなる事はなく、今までと比べれば控えめな湿疹が季節や体調によって全身のどこかしらに出て、日に数度掻きむしる日々が続きました。毎日入っていた漢方風呂は半年経ったあたりで1日置きになり、1年半経ったあたりで入りたがらなくなったのでやめました。現在治療開始から2年2ヶ月、都生4歳半。日中掻きむしるのは機嫌が悪くて泣きわめいている時か眠たい時ぐらいで、プツプツ出ているところにヘルペスの塗り薬を塗る程度で過ごしています。夜中に痒くて？起きてしまう事が相変わらず続いているのが気になる程度です。

幼稚園に通い始めたことで新しい物と出会い、時々プツプツがひどく出てきたりもしますが、数日様子を見れば落ち着きます。完全に気にならなくなるまではまだまだ先だと思いますが、あれだけ辛かった日々が嘘のような毎日です。母である私の湿疹がまだまだ続いているため、都生はこれからも煎じ薬を続けながらお世話になりたいと思います。これからもよろしくお願いします。

(生後半年頃)



(受診する2週間程前)



(受診して1週間後)



(都生2歳4ヶ月)

(ぱっと見はほとんどわからないくらいの今の顔)

